

東京クリニック

医薬品情報

TEL 03-5287-5532

Web <http://www.tokyo-clinic.jp>

Mail info@tokyo-clinic.jp

2003年12月改訂(第3版、自主改訂)
2001年11月改訂(第2版、自主改訂)

貯 法：しゃ光・気密容器
使用期限：容器、外箱に表示

日本標準商品分類番号	
875200	
承認番号	(61AM)3283
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年10月

■ 113 ■

漢方製剤

サン オウ シャ シン トウ

ツムラ三黄瀉心湯エキス顆粒(医療用)

【組成・性状】

組 成	本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.75gを含有する。 日局オウゴン.....3.0g 日局ダイオウ.....3.0g 日局オウレン.....3.0g	
	添加物	日局カルボキシメチルセルロースカルシウム、日局ステアリン酸マグネシウム、日局乳糖
性 状	剤 形	顆粒剤
	色	黄かっ色
	におい	特異なにおい
	味	苦味
	識別コード	ツムラ / 113

【効能又は効果】

比較的体力があり、のぼせ気味で、顔面紅潮し、精神不安で、便秘の傾向のあるものの次の諸症：

高血圧の随伴症状(のぼせ、肩こり、耳なり、頭重、不眠、不安)、鼻血、痔出血、便秘、更年期障害、血の道症

【用法及び用量】

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

- 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
(1)下痢、軟便のある患者[これらの症状が悪化するおそれがある。]
(2)著しく胃腸の虚弱な患者[食欲不振、腹痛、下痢等があらわれることがある。]
(3)著しく体力の衰えている患者[副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。]
- 重要な基本的注意
(1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
(2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。ダイオウを含む製剤との併用には、特に注意すること。
(3)ダイオウの瀉下作用には個人差が認められるので、用法及び用量に注意すること。
- 副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。
消化器：食欲不振、腹痛、下痢等があらわれることがある。
- 高齢者への投与
一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。
- 妊婦、産婦、授乳婦等への投与
(1)妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。[本剤に含まれるダイオウの子宮収縮作用及び骨盤内臓器の充血作用により流産の危険性がある。]
(2)授乳中の婦人には慎重に投与すること。[本剤に含まれるダイオウ中のアントラキノン誘導体が母乳中に移行し、乳児の下痢を起こすことがある。]
- 小児等への投与
小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]

【薬効薬理】

作用機序

本剤は、以下の作用により薬理効果を示すことが示唆されている。

1. 血圧降下作用

大動脈平滑筋A7r5細胞において、バソプレッシン及びCa²⁺-ATPase阻害薬タブシガルギンによるカルシウムイオン上昇を抑制した。また、バソプレッシンによるイノシトール(1, 4, 5)三リン酸産生を抑制した(*in vitro*)¹⁾。

2. 中枢神経系に対する作用

C6ラットグリオーマ細胞において、カルシウムイオンノフォアA23187によるプロスタグランジンE₂遊離を抑制した(*in vitro*)²⁾。

【包 装】

500g、5kg(500g×10) 2.5g×42包、2.5g×189包

【主要文献】

- 1) 竹 村 晴 夫：漢方医学，24(6)265(2000)
- 2) N. Nakahata, et al.：和漢医薬学雑誌，15(2)116(1998)

【文献請求先】

株式会社ツムラ 商品情報センター
東京都千代田区二番町12番地7 〒102-8422

